

- 病院長就任に際してのご挨拶
- 先進医療のご紹介
- 病院での「新型コロナウイルス」対策
- 支援物資の御提供にお礼申し上げます

地域に支えられ患者さんとともに歩む病院として、質の高い医療を提供します

病院長 田中 俊宏



本年4月1日付で病院長に就任した田中俊宏です。滋賀医科大学医学部附属病院は、昭和53年に開院し歴史を重ねてまいりました。大学では「地域に支えられ、地域に貢献し、世界に羽ばたく大学として、医学・看護学の発展と人類の健康増進に寄与する。」ことを理念に掲げており、その附属病院として本院が目指すべきところは、①地域医療を担うこと、②医師・看護師などの良き医療人の育成です。

また、本院は特定機能病院でもありますので、「高度な医療を提供する」、つまり重症症例の患者さんを積極的に受け入れることで「地域医療に貢献する」ことが必要であると考えています。今回のコロナ禍への対応に即して考えると、①新型コロナウイルス（以下、新型コロナ）感染の有無に関わらず、放置すれば命に関わる、または重い後遺症を残す可能性のある患者さんへの治療、②重症度の高い新型コロナ感染症患者さんへの治療、この2つが本院の大きな役割となります。こうした役割を果たすため、軽症の新型コロナ感染症患者さんに関しては感染症指定医療機関にお願いをしています。

本院では、新型コロナ感染者かもしれない重症患者さんに対応するため、通常の院内感染対策に加え、2つの工夫をしました。

一つは、院内でのPCR検査を24時間体制に整備したことです。緊急手術を要する患者さんにはその場でPCR検査を行い、新型コロナ感染者かどうかを判定することによって、患者さんがもし新型コロナ感染者であったとしても、院内感染を発生させないように適切に対応することができます。

もう一つは、ICUなどに新しく間仕切りを設置し、新型コロナ感染者とそうでない患者さんを物理的に分離して、院内感染リスクを低減した状態で医療提供できるようにしたことです。

今回のコロナ禍では、私たちの病院だけでなく、日本中の病院が痛手を負っています。このような状況の中で病院長を引き継ぎ、大変身の引き締まる思いで、この大禍を乗り切るべく日々邁進していく所存でございます。今後ともご支援の程よろしくお願い申し上げます。



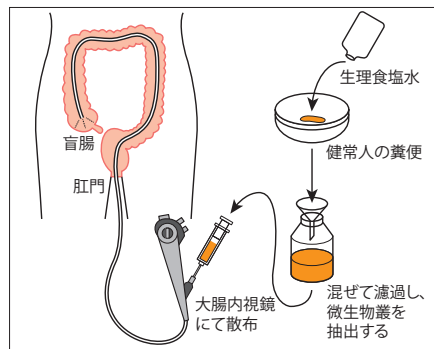
先進医療のご紹介

～再発性*Clostridioides difficile* 関連下痢症・腸炎に対する糞便微生物叢移植～

消化器内科

令和2年3月、「再発性*Clostridioides difficile* (クロストリジオイデス・ディフィシル^{※1}) 関連下痢症・腸炎に対する糞便微生物叢移植」が、先進医療として厚生労働省に承認されました。

(※1 クロストリジウム・ディフィシル (*Clostridium difficile*) は、2016年にクロストリジオイデス・ディフィシル(*Clostridioides difficile*)に再分類されました)



クロストリジオイデス・ディフィシル 関連下痢症・腸炎とは

この疾病は、抗菌薬の内服などが原因で腸内細菌叢のバランスが崩れ、クロストリジオイデス・ディフィシルという細菌が異常増殖し、毒素を産生することにより発症します。偽膜性腸炎と呼ばれることもあります。標準的な抗菌薬治療を行っても2回以上の再発を繰り返す患者さんを今回の先進医療の対象としています。

糞便微生物叢移植について

糞便微生物叢移植の一連の流れは右の通りです。健康なドナーの微生物叢を移植することで、崩れてしまった腸内細菌のバランスを正常な状態に戻し、症状を改善することが期待できます。

費用は、先進医療部分が自費診療となり、131,300円を患者さんにご負担いただきます。別途追加費用が必要となる場合^{※2}もあります。また、それ以外にも保険診療部分についての費用も必要となります。なお、ドナーの方の費用負担はありません。

(※2 スクリーニング検査の結果ドナー候補者がドナーとして不適格であった場合、ドナー候補者が複数の場合、2回目の移植をする場合など)

クロストリジオイデス・ディフィシル関連下痢症・腸炎に対する糞便微生物叢移植は主に海外で有効性が報告されている治療法ですが、日本ではまだデータが十分ではありません。今回の先進医療を通して、有効性と安全性の評価を行い、この治療が日本で保険診療として受けられるようになることを目標としています。

①事前準備

・患者さん自身で、ドナー(糞便提供者)候補者を確保

②初回来院日

・スクリーニング検査で健康なドナーを選定

③移植日

・ドナーから便を採取し、微生物叢を抽出する。
・大腸内視鏡で患者さんの盲腸付近に微生物叢を散布

④経過観察

・3か月の経過観察。十分な効果が得られなければ再度移植を実施

病院での「新型コロナウイルス」対策

感染制御部

新型コロナウイルスについて

「新型コロナウイルス」は、その名の通り新しい型のコロナウイルスです。コロナウイルスには、一般の風邪の原因となるものに加えて、重症急性呼吸器症候群（SARS）や中東呼吸器症候群（MERS）を引き起こすものが知られています。今回、世界中で大流行を引き起こしている新型コロナウイルスは、正式にはSARS-CoV-2と呼ばれています。

コロナウイルスの特徴

コロナウイルスは自分で増えることはできません。また、健康な皮膚から体の中に入り込むこともできません。表面にくっついていただけです。でも、目や鼻、のどの粘膜からは体の中に入り込むことができます。ですから、手にコロナウイルスがついている可能性を考えて、目をこすったり鼻や口を触ったりしないようにしましょう。

コロナウイルスの外側は膜でくまれています。この膜は石けんやアルコールで壊すことができます。ですから、石けんできっちりと手を洗ったり、アルコール性手指消毒薬をきっちりと手にすり込んだりすることが大切です。



病院でのコロナウイルス対策

病院でのコロナウイルス対策といっても、何も特別なことをしているわけではありません。

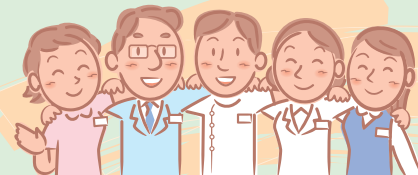
まず大切なのは、自分の体調管理です。毎日熱をはかり、熱があれば出勤しないようにしています。もちろん、石けんによる手洗いや、アルコール性手指消毒薬の使用も大切です。先ほども述べましたように、コロナウイルスは粘膜から体の中に入ってきます。ですから、マスクをつけ、鼻やのどを保護し、さらに目の粘膜を守るためにゴーグルをつけるようにしています。

患者さんにも体温をはかっていたり、体調や他府県に行ったかどうかなどをお伺いしています。また、入院患者さんの面会は原則お断りしております（8月時点）。こういったお願いは、病院に多くいらっしゃる体力や免疫力の落ちた方々を守るためです。

現在の新型コロナウイルスの流行がいつ終息するのか現時点ではわかりません。終息までの間は、患者さんも病院で働く人も一緒になって新型コロナウイルスに立ち向かっていきましょう。

感染制御部とは？

世の中には多くの感染症があります。これらの感染症が、病院の中で流行しないように働いているのが感染制御部です。感染制御部では、医師や看護師、薬剤師、検査技師など多くの職種のスタッフがそれぞれの専門分野に応じて協力して働いています。



支援物資の御提供にお礼申し上げます

多数の心温まるご支援ありがとうございます 病院長 田中 俊宏

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、医療用マスクなどの医療防護具の確保が困難となる中、企業や団体、個人の皆さまから、医療物資や食料品など温かいご支援をいただいております。病院ホームページで、ご紹介させていただいておりますが、改めて心よりお礼申し上げます。

ご寄附いただいた品は、本感染症対策に従事しているスタッフなどで大切に使用させていただいております。

医療現場では厳しい状況が続く中、皆さまからの温かいご支援・ご声援は本院スタッフの励みとなっております。引き続き、スタッフ一丸となって安心・安全な医療を提供できるよう尽力してまいります。



日付	ご芳名	ご支援の内容	
2020年3月18日	個人	マスク	600枚
4月1日	個人	速乾性アルコールジェル	48本
4月16日ほか	株式会社イシダ 様	サージカルマスク	6,500枚
4月20日	株式会社レーベン 様	特別価格によるお弁当の提供	
4月27日	有限会社西信商店 様	フェイスマスク	1,250枚
4月27日	個人	N95カップマスク	60枚
4月30日	株式会社セブン・イレブン・ジャパン 様	食品類	一式
4月30日	株式会社サンアロー 様	マスク	1,000枚
5月1日	日本中央競馬会栗東トレーニングセンター 様	マスク	1,000枚
5月3日	個人	不織布マスク	150枚
5月7日	個人	マスク ほか	6セット
5月11日	医療法人かがやき歯科クリニック 様	フェイスシールド	250枚
5月15日	フジコンコーポレーション株式会社 様	医療用サージカルマスク	6,000枚
5月15日	株式会社メディカルウェイトシステム 様	シルキー不織布マスク	400枚
5月15日	ロート製薬株式会社 様	手袋、防護服、フェイスシールド ほか	計 5,740点
5月18日	医療法人はたスポーツ整形クリニック 様	フェイスシールド	50枚
5月18日	京セラ株式会社 様、 京セラドキュメントソリューションズ株式会社 様	フェイスシールド	66枚
5月19日	株式会社皆藤製作所 様	防護服、ガウン、キャップ	計 505点
5月21日	KDD 株式会社 様	非接触体温計	1点
5月21日	ロート製薬株式会社 様	医療用外科マスク、足カバー	計 4,200点
5月22日	株式会社イシダ 様	サージカルマスク	6,000枚
5月25日	東ソー株式会社 大阪支店 様	サージカルマスク	2,000枚
5月25日	個人	マスク	100枚
5月26日	BAR STONE'S (バー ストーンズ) 様	食品類	一式
5月26日	炭匠 とりんちゅ 様	食品類	一式
5月26日ほか	& A (アンド エー) 様、AGOLA (アゴラ) 様	お弁当	427個
5月27日	株式会社ジャパン・メディカル・カンパニー 様	フェイスシールド	20枚
6月1日	個人	不織布キャップ	5枚
6月2日	個人	N95マスク	16枚
6月3日	株式会社日立製作所ヘルスケア 京都営業所 様	フェイスシールド	50枚
6月9日	株式会社叶匠寿庵 様	梅ゼリー ほか	計 1,160点
8月6日	個人	応援ポスター	一式

ご寄附いただいた日付順 / 2020年8月7日時点 (病院ホームページにて、最新情報を掲載しております。)

滋賀医科大学医学部附属病院 理念

「信頼と満足を追求する『全人的医療』」

滋賀医大病院ニュース第59号

編集・発行：滋賀医科大学広報委員会

〒520-2192 大津市瀬田月輪町

TEL：077(548)2012(総務企画課)

過去の滋賀医大病院ニュース(PDF版)はホームページでご覧いただけます。



●理念を実現するための 基本方針

- 患者さんと共に歩む医療を実践します
- 信頼・安心・満足を提供する病院を目指します
- あたたかい心で質の高い医療を提供します
- 地域に密着した大学病院を目指します
- 先進的で高度な医療を推進します
- グローバルな視点を持ち、人間性豊かで優れた医療人を育成します
- 将来にわたって質の高い医療を提供するため、健全な病院経営を目指します